

世界初の技術から生まれた、『テラヘルツ機能水』とは・・・

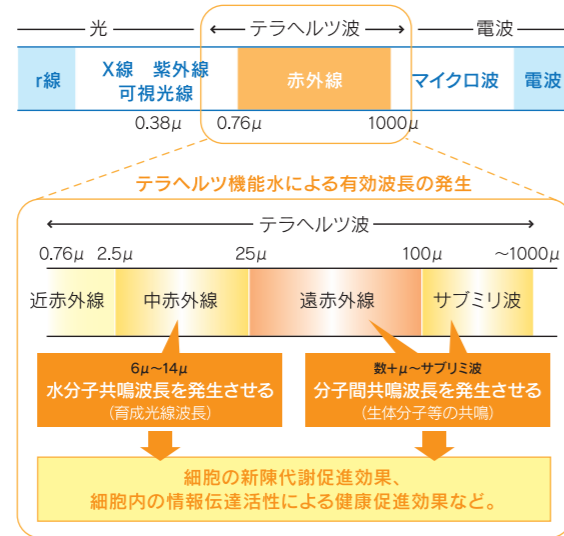
●そもそも「テラヘルツ」ってなに？

自然界にはエネルギーを伝える様々な電磁波がありますが、その中で光と電波という2つの形の中間にある電磁波をテラヘルツ波といいます。光のようにまっすぐに飛ぶ性質と、電波のようにコンクリートなどの物体も貫通する性質をあわせ持っています。

テラヘルツ波には、赤外線やサブミリ波などが含まれます。中でもよく知られているのが遠赤外線です。遠赤効果が高いものとしては、すでに、トルマリンやゲルマニウム、炭などが、健康や環境浄化にいいものとして知られています。

このように、これまでテラヘルツ波を放射するものは、固体の形状をしたものが中心でした。しかも、その効果についても、自然の中で発見されたテラヘルツ波放射体の波長にたまたまあった効果だけが利用されてきたのです。

■電磁波スペクトル

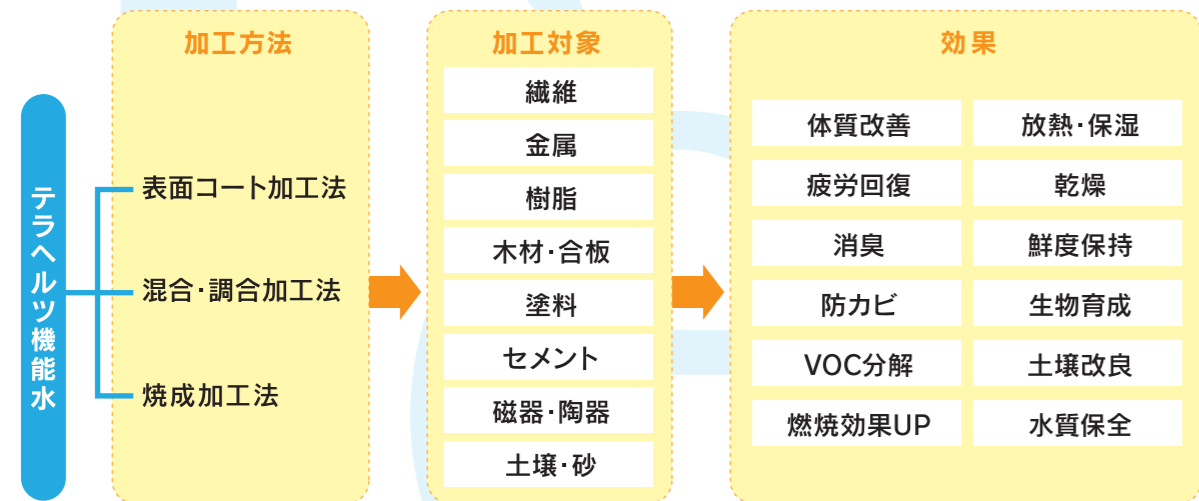


●『テラヘルツ機能水』は、何がスゴイの？

『テラヘルツ機能水』は、このテラヘルツ波放射体を“水”という形状で人工的に生み出すことに成功した世界で初めてのものです。しかも、使用目的や対象物に合わせた波長でテラヘルツ波を発生することができるため、その効果はより確かで強大なものとなります。

基本的に自然由来のミネラルと水だけで作られる『テラヘルツ機能水』は、水質検査でも「飲み水に適合」という結果が出るほど安全です。

また、水（液体）という性質上、どんな素材とも融合させることができるため、用途や使用分野は無制限に近く、これから人類に大きな恩恵をもたらすといわれるテラヘルツ波利用の可能性を、大きく広げてくれるものです。



『テラヘルツ機能水』の要、“起電微粒子”とは・・・

『テラヘルツ機能水』には、自ら半永久的に電場を作り出し、同時にテラヘルツ波を発生させる、特殊なミネラル結晶体＝“起電微粒子※1”が溶け込んでいます。

“起電微粒子”は、大気や物質中にある自由電子（マイナスの電気を帯びた自由に動き回る素粒子）を捕まえて取り込む性質を持っています。

物質の最小単位である原子は、その中心にプラスに帯電した陽子を含む原子核があり、その周りをマイナスの電気を帯びた電子が回っていて電気的にバランスのとれた状態です。しかし、“起電微粒子”は、特別な構造をしており、その表面にプラス極とマイナス極を持ちながらマイナス極が優位な状態を保つ性質があります。

このため、プラス極にマイナスの自由電子が取り込まれ、“起電微粒子”内で余った電子が外へ押し出されることになります。このとき、飛び出したまま離れる電子もあれば、再び同じ粒子に飛び込む電子もあります。

このように自動的に絶えず電子が動くことで、電流が生まれ、“起電微粒子”の周辺には電場（パルス電場※2）が発生し、それに伴うテラヘルツ波が生み出されます。

“起電微粒子”は、使用する対象や目的に合ったテラヘルツ波を発生するよう緻密に設計された特殊なミネラルの結晶体です。ミネラルウォーターなどにも含まれる土壌ミネラルを素材としているため、これを含む『テラヘルツ機能水』も、人体に全く害がなく、むしろ、環境浄化や人体機能の活性化に役立つ性質を持っています。

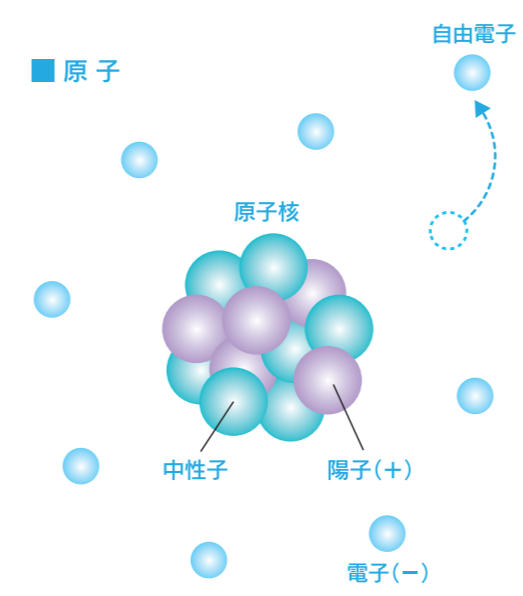
また、電場の発生により分子運動状態を活性化させたり、陽イオンと陰イオンの結合に変化を起こしたりすることで、燃焼効率のアップや消臭、界面活性作用など多様な機能を持つことが可能となり、エコロジーや省エネルギーにも大きな効果をもたらします。

※1 起電微粒子

“起電微粒子”とは、この特殊な結晶体の特性を表すため開発者がつけた呼称で、一般的な科学用語ではありません。

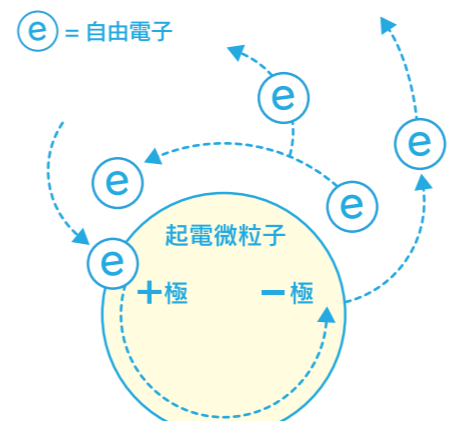
※2 パルス電場

起電微粒子による電子回路は、電子が元の粒子に飛び込んだときにだけ発生し、そのまま離れた場合は回路が切れた状態になります。その結果、ON、OFFを繰り返すパルス電場が形成されます。これは、電気的に交流の状態に類似の効果となります。



放電と捕捉による電子回路の形式

起電微粒子から押し出された電子が再び同じ粒子に飛び込むとき、電子回路ができ電気エネルギーが発生します。



①大気や物質中にある自由電子（マイナスの電気を帯びた素粒子）を捕まえて取り込む。
②余った電子が押し出され、それが再び取り込まれると電気回路が発生。その微弱な電流が肌の水分子にエネルギーを与える。

もっと知りたい！『テラヘルツ機能水』

●『テラヘルツ機能水』って、具体的にどんな動きをするの？

『テラヘルツ機能水』の最大のメリットは、自然環境や人体に欠くことのできない“水”として対象物と一体化できることです。水は、特に有効とされるテラヘルツ波（赤外線6～14μm）の波長を吸収すると、水分子の運動性が向上して熱をよく伝え、酸化を抑制する力（還元力）や、物を分解し溶かす力（加水分解力）が強くなるという実験結果が出ています。

人体においても、水分子の還元力により生体機能が活性化され、細胞レベルでの酸化老廃物の除去や分解作用を促進してくれることが期待されます。

◆『テラヘルツ機能水』は、なぜ人体や環境にいいの？

たとえば、化粧品や洗剤など何らかの目的をもって作られる従来の製品には、その目的に合った化学物質が入られます。また、腐敗しやすい場合は、防腐剤などの添加物も加えられます。これらの化学物質が、人体や環境に大きな負担をかけ、病気や環境汚染の原因にもなることが分かっています。

その点、テラヘルツ機能水は全く異なります。水に溶け込んだミネラルの結晶体（起電微粒子）が発するテラヘルツ波によって、対象物の分子を活性化させ、イオンバランスを変えることで、化学物質をいっさい加えることなく目的の機能を果たすよう設計されています。

